

令和7年度

栄小学校

1年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

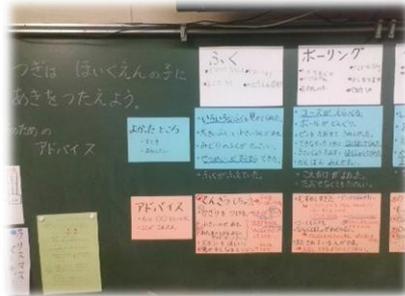
単元名： きせつとなかよし あき
(活動名)

ねらい： 秋の自然を諸感覚を使って観察したり、自然物を使って遊んだりする活動を通して、秋の特徴や他の季節との違いを見つけ、それらで遊ぶ方法を考えたり、遊びを楽しく工夫したりすることができ、自然や生活の様子の変化、自然の面白さや不思議さ、野原や公園のきまりを守ることに気づき、季節の遊びや生活を楽しく作りだすことができるようにする。



【10月23日】

生活科の校外学習で、栗原公園に出かけました。自然と触れ合い、たくさんの「秋」を見つけ、自然のよさに気づきました。



【11月某日】

どうしたら上手に秋を伝えられるかグループに分かれて考えました。互いにアドバイスしながら工夫しました。



【11月～12月】

各クラスでの発表後、体育館でグループごとにブースを分け、学年で秋を伝え合いました。また、保育園の年長さんを招待して秋を伝えるための準備をすすめました。

【12月5日】

すみよし保育園・ひばりが丘保育園・こまどり保育園の年長さんを招待して、秋を伝えました。どんぐりごま、アクセサリー、めいろなどのグループに分かれて、ルールを簡単にしたり説明を詳しくしたりして、年長



さんに分かりやすいように工夫して伝えることができました。

まとめ コラム

自分が気付いた「秋」の良さを、伝えたい方法を選択したり、試行錯誤を繰り返したりして、よりよく伝えようとする力を育むことができました。また、近隣の園の年長さんとの交流では、お兄さんお姉さんとして、年下の相手を意識しながら準備を進めることができました。